

緊急赤潮情報R3-4

令和3年7月19日

大分県農林水産研究指導センター
水産研究部北部水産グループ

伊予灘（国東市国東町）で有害赤潮プランクトンのヘテロシグマ・アカシオが注意密度を超えて確認されています。

以下の点を参考にして漁業被害の未然防止に努めて下さい。

本種の注意密度は、5,000細胞/ml、 警戒密度は、50,000細胞/mlです。	
(ヘテロシグマ・アカシオの留意点)	
①	このプランクトンは、上下移動を繰り返し、日中は表層に夜間は底層に滞留します。水色や漁模様の急変など、海域監視の強化に努めて下さい。
②	特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活け〆出荷等の対策を講じて下さい。
③	赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。

表1 赤潮プランクトン検鏡結果

調査月日	調査場所	調査時間	採水層	水温(°C)	塩分(PSU)	ヘテロシグマ・アカシオ(細胞/ml)
7月19日	国東港 (国東地区)	16:45	0	25.6	-	15,450

採水・検鏡：東部振興局農山漁村振興部水産班

